

主要な研究内容

探究課題：教師が、探究を通して、子どもにどのような資質・能力を育成したいと考えるかを、学習対象の水準で表現したもの。

)自分・自分の身のまわりや、地域の人・もの・ことなどに関わる、学年に応じた探究課題の設定について

★目標を実現するにふさわしい探究課題の設定

- ①探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であること
- ②展開される学習が、教科横断的・総合的であること
- ③課題を学ぶことにより、自己の生き方を見つめ直すきっかけとなること

)探究的な学習のよさを実感できる課題解決の過程・方法について

- ①課題解決を通してどんな力をつけていか、どんな子どもの姿をめざすか、など望ましい児童の成長の姿を明確にする。

★めざす子どもの姿の設定 ★課題解決のゴール設定

)各教科等との関連を明らかにした生活科、総合的な学習の時間・生活単元学習の年間指導計画の実践的検証。本校独自の年間スケジュールの作成について

◀横断的な視点と地域人材・地域資源の活用

◀年間計画の更新・再構築



)探究的な学習を充実させるための工夫

★調べて整理・分析したこと、自分の経験や実生活との比較

★他教科との関連重視。各教科学習の言語活動の時間とのリンク

)各学年のテーマ ※番号は「SDGs/7の目標」の番号

学校全体のテーマ：わたしたちと亀山	
1年	「わくわく うきうき にしようたんけんたい」 4・5・10・11 【地域・いのち】
2年	「町のステキ!たんけんたい」 4・5・10・11 【地域・いのち】
3年	「亀山のことを調べよう～亀山をもっと知り隊～」 2・11・13・14・15 【地域・伝統文化】
4年	「防災について考えよう～みんなの命 守り隊」 9・11・13・14・15 【地域・防災・キャリア】
5年	「将来について考えよう～思いよ届け!亀山西小広報隊～」 8・9・11・12 【地域・キャリア】
6年	「福祉について考えよう～♪やさしさいっぱいとけ隊♪～」 3・8・10・11・16 【地域・福祉・いのち】

)各教科等との関連を明らかにした総合的な学習の時間、生活科、生活単元学習の年間指導計画の検討

～「社会に開かれた教育課程」「地域人材の活用」を意識して！～

①次の表(6年生)にあるように、各教科との関連を明らかにするために、年間指導計画には各教科の単元も配置し、相互の関連を線で結ぶ。また、地域人材や地域資源「人・もの・こと」をどのように活かしたかを実践的に書き込むようにし、次年度へ引き継ぐ。

②ICT機器の効果的な活用についても、実践例を書き込むことで、活用場面・活用方法の積み上げ、見える化を図る。



探究的な学習を深めるための工夫

)探究的な学習とは

問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく学習活動のこととする。総合的な学習の時間では、**課題の設定** →→ **情報の収集** →→ **整理・分析** →→ **まとめ・表現** のような学習過程が考えられる。生活科では、一連の学習活動を「まとまり」として体験活動と表現活動とを繰り返し、学びの質を高める。

(2) 探究的な学習を意識した年間計画

例：令和4年度 年間指導計画表

亀山西小学校 6年												年間合計	
月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
国語	つかいで、つなげ一つのお話を聞いて、考えを進めよう③④ 帰り道 春の河/小量昇情 地域の施設を活用しよう④ 漢字の形と音・意味 春のいぶき 学習の準備をしよう	読みて、考えを進めよう③④ 漢字の広場① 文の組み立て 笑うから楽しい！時計の時間と心の時間【情報】主張と事例② 話し言葉と書き言葉③ 組み立て方【湖】	たのしみは 私たちにできること③ 文の組み立て 夏のさかり いちはん大事なものは③ 利用案内を読もう 地図の読み立ち 漢字の広場②	せんねんまんねん 夏のさかり いちはん大事なものは③ 利用案内を読もう 秋探し 漢字の広場⑤	やまなし③ 言葉の変化 秋探し 漢字の広場④	漢字の広場③ 狂言袖山伏「袖山伏」について 島根県民が誇る特徴の日本文化③④ 大切にしたい言葉 漢字の広場⑥	狂言袖山伏「袖山伏」について 島根県民が誇る特徴の日本文化③④ 大切にしたい言葉 漢字の広場⑤	漢字の広場④ 狂言袖山伏「袖山伏」について 島根県民が誇る特徴の日本文化③④ 大切にしたい言葉 漢字の広場⑥	人をひきつける表現 行名の由来 メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために プログラミングで未来を作る	人をひきつける表現 行名の由来 メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために プログラミングで未来を作る	漢字の広場⑤ 海の命 中学校へつなげよう 今、私は、ぼくは 学びを生かそう③④ 国際会議と日本の役割③ 旅行	漢字の広場⑥ 海の命 中学校へつなげよう 今、私は、ぼくは 学びを生かそう③④ 国際会議と日本の役割③ 旅行	245
書写													
社会													
算数													
理科													
音楽													
図工													
家庭													
体育													
道徳													
外國語活動													
総合的な学習の時間													
特別活動													

(3) めざす子どもの姿の設定

① 主動的に学ぶ姿

◎ 主動的に学ぶ姿			
総合的学習過程	高学年	中学年	生活科の学習過程
課題の設定	どうしてかな？ どうすればわかるのかな？	なんだろう。 思いや願いをもつ。	やってみたい。 さわってみたい。 したりたい。
情報の収集	どんな方法で調べようか。 ちがう方法で調べよう。 ちがう見方をしてみよう。 詳しい人に聞いてみよう。	聞いてみよう。 見に行こう。	つくってみたい。 きたいな。 はなししたい。
整理・分析	どの情報が必要か選ぼう。 表で整理しよう。 (グラフ・シンキングツール) ここから分かることは・・・。	比べてみよう。 なかま分けしてみよう。 ここから分かるのは・・・。	たのしいな。 わかった。 なんでだろう。
まとめ・表現	どんな方法で伝わりやすくするためには	どんな方法で伝わりやすくするためには	表現する・行為する (伝え合う・ふり返る)

② 協働的に学ぶ姿

◆ 協働的に学ぶ姿			
高学年	中学年	低学年	
お互いに見あって、よりよくしよう。 亀山市でどんなことができるのか、考えたいな。	友だちといっしょにやってみよう。 ○○さんはなにを調べたのかな。 自分の生活に結びつけて調べたり考えたりすることができる。 目標を持って課題を解決しようとしている。	ともだちみたいにしてみよう。	
◆ 学びに向かう力・人間性			
高学年	中学年	低学年	
・亀山市でどんなことができるのか、考えたいな。 ・わたしは、○○なことがしたい。 ・友だちと一緒にやってみたい。 ・○○な亀山市を作りたい。	○自分の生活に結びつけて調べたり考えたりすることができる。 ○目標を持って課題を解決しようとしている。 ・○○してみたらどうだろう。 ・亀山市っていいところがたくさんあるんだな。 ・私たちの住んでいる町は、住みやすそう。	○身近な人々、社会や自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとする。 ・○○がすきになったよ。 ・○○をしてみたい。 ・○○になりたい。	

(4) 探究的な学習をより深めるための手立て

「まとめ・表現」の段階において、様々な方法で学んだことや考えを表現できる場面を設定する。そのような機会を定期的に設けることで、子どもたちは「できた」「やってよかった」などの満足感や達成感をもち、次の新たな課題設定を行うことができる。ステップに応じて、活用する力が積みあがっていくようにしたい。

方法	ステップ1	ステップ2	ステップ3
	・プリント ・意見文、感想文 ・新聞、ポスター ・チラシ ・話し合い活動（討論会等） ・ロイノート	・手紙 ・通信（配布） ・放送、新聞、チラシ ・ポスター ・かるた、絵本、紙芝居、すごろく、劇、クイズ ・パンフレット ・話し合い活動 ・ロイノート（プレゼン） ・CM ・動画制作	・手紙 ・通信（配布） ・放送、新聞、チラシ ・ポスター ・かるた、絵本、紙芝居、すごろく、劇、クイズ ・CM ・パンフレット ・ロイノート（プレゼン） ・ポスターセッション ・パネルディスカッション ・集会、発表会 ・動画制作
内容			
対象者	個人、ペア、グループ	グループ、学級、学年、他学年、学校	学級、学年、他学年、学校、他校児童、保護者、地域（亀山西小校区・亀山市）・他校児童